

大阪過労死問題連絡会結成30年・大阪過労死を考える家族の会結成20年記念シンポジウム
「ノーマアカローシの取り組みが投げかけたもの（仮称）」

主催 大阪過労死問題連絡会
大阪過労死を考える家族の会

1981年7月、大阪過労死問題連絡会の前身にあたる「『急性死』等労災認定連絡会」が大阪で結成されて、今年で30周年を迎えます。また、1990年12月8日、大阪過労死を考える家族の会が結成され、昨年で20周年を迎えました。

まだ「過労死」という言葉そのものが存在せず「急性死」と呼ばれた時代から、「KAROSHI」として国際語になりました。労災補償においては、1999年にはそれまで労災認定は極めて困難とされていた過労自殺の認定基準が旧労働省によって策定され、2001年には、厚生労働省が脳・心臓疾患の過労死の新たな認定基準を策定する等、救済に向けての取り組みがなされてきました。

その一方で、10年前にはあまりなかった若年労働者の過労自殺、労働者の精神障害事案の急増等、緊急に取り組まなければならない課題も多々あります。

このような流れの中での連絡会、家族の会の「ノーマアカローシ」の取り組みを振り返り、それが社会に対しどういった問題提起をしてきたのか、広い視点から振り返る企画として、シンポジウムでは、「パネルディスカッション・過労死問題は何を提起したか（仮称）」を行う予定であります。

つきましては、連絡会・家族の会の初期から現在に至るまで、それぞれの時代に関わって下さった方々に一人でも多くご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

ご参加いただけます場合には、準備の都合上、10月9日までに、裏面の参加申込書に必要箇所をご記入の上、ファックスまたは電子メールにてご連絡下さい。

◇ 日 時 **2011年11月12日（土） 午後1時30分から**

◇ 場 所 **大阪府教育会館・たかつガーデン**
（最寄り・地下鉄谷町線「谷町9丁目」、近鉄「大阪上本町」・裏面地図参照）

◇ 参加費 **第1部（記念シンポジウム） 1000円**

第2部（記念レセプション） 5000円（一般の方）
3000円（家族の会の方）

【第1部】

記念シンポジウム 午後2時から午後5時（開場・午後1時30分）

基調報告 大阪過労死問題連絡会会長 森岡孝二（関西大学教授）
弁護士 松丸 正

パネルディスカッション「過労死問題は何を提起したか（仮称）」

パネラー：熊沢誠（甲南大学名誉教授）
織田柳太郎（元NHKディレクター）
竹信三恵子（ジャーナリスト）
寺西笑子（全国過労死を考える家族の会代表）

質疑応答

【第2部】

記念レセプション 午後5時30分から午後8時30分
リレートーク、懐かしい映像の紹介等を予定しております

【連絡先】

あべの総合法律事務所 岩 城 穰（大阪過労死問題連絡会 事務局長）

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号 あべのメディックス202号

TEL：06-6636-9361 E-mail：info@abenolaw.jp

会場：たかつガーデン

大阪市天王寺区東高津町7番11号

TEL 06-6768-3911

【交通のご案内】

近鉄『上本町駅』から徒歩約3分

地下鉄『谷町九丁目駅』から徒歩約7分



参 加 申 込 書

送付先：あべの総合法律事務所 行（FAX：06-6636-9364）

※ 参加される部を○で囲んで下さい。

- | | | |
|---|-------------|------|
| ◇ | 第1部（シンポジウム） | 参加する |
| ◇ | 第2部（レセプション） | 参加する |

氏 名

住 所

TEL：

FAX：

e-mail：

ご参加いただけない場合は下記に一言メッセージをお願いします。

☆一言メッセージ☆